

ふかえりのわくわくFP通信

2025年10月号

ちょっと気になる「資産運用」「保険」「年金」などお金についての話題をお届けします。



10月に入り、だいぶ過ごしやすい季節になってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。「暑い！暑い！」と言っているうちに、気がつけば今年も残り3ヵ月となりました。やりたいと思いながらつい先延ばしにしていたことを、この年内にしっかり片づけていきたいですね。

生命保険料控除証明書

10月から11月にかけて、保険会社から「保険料控除証明書」が送付されます。この控除証明書は 年末調整や確定申告に必要な大切な書類 です。紛失してしまうと再発行に時間がかかることもありますので、届いたら必ず確認し、大切に保管してくださいね。また、各社のマイページに登録しておく、再発行手続きもスムーズにできます。まだの方は、この機会にぜひご登録をおすすめします。

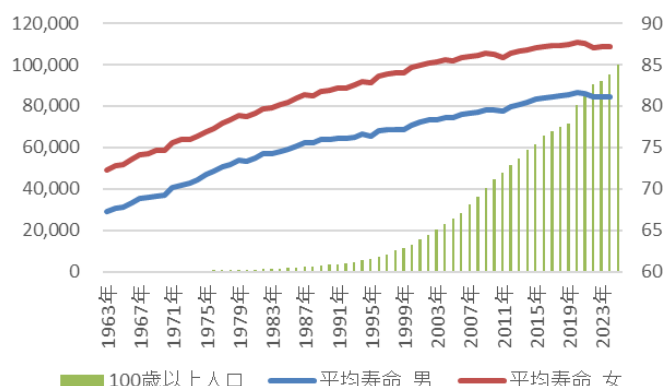
どなたも日々お忙しいので、ご自身が加入している保険の内容をすぐに思い出せないこともあるかと思います。控除証明書が届くこの時期は、ご加入中の保険内容を確認する良いタイミングです。ぜひ一度見直しのきっかけにしてみてください。

100歳以上人口過去最高

先月の敬老の日にあわせ、厚生労働省は「令和7年度 百歳の高齢者へのお祝い状及び記念品の贈呈について」を公表しました。

今年100歳を迎えて表彰されたのは **52,310人（前年度比+4,422人）**、100歳以上人口は **合計99,763人** となり、いずれも過去最多を更新しています。

下図は1963年からの100歳以上人口と平均寿命の推移を示したものです。



1963年当時、100歳以上人口はわずか153人、平均寿命は男性67歳・女性72歳でした。それが大きく伸び続け、推計では **2050年には100歳以上人口が50万人を超える見込み** とされています。

一方で、今月からは一定以上の所得がある75歳以上の方の医療費自己負担が2割に引き上げられました。長寿社会の進展に伴い、負担の在り方をめぐる議論もますます重要になっています。

こうした変化を見据え、私たち一人ひとりが将来に向けた備えを一層重視していく必要があるでしょう。

「みらいのお金クリニック」
アルシアコンサルティング株式会社
深川 恵理子

〒251-0023 神奈川県藤沢市鵜沼花沢町2-3PHビル2階
TEL 0466-54-8417 CALL 090-8437-5259

[HP click](#) ◀ [Blog click](#) ◀ [LINE friend](#) ◀ [X follow](#) ◀



見えにくいサイバー犯罪の怖さ



9月18日、警察庁は「令和7年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」を公表しました。

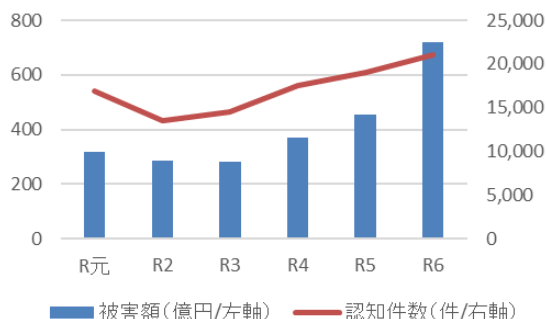
インターネットは私たちの生活基盤に深く溶け込み、便利さをもたらす一方で、サイバー空間を悪用した犯罪は急速に拡大し、すでに日常生活を脅かす水準にまで達しています。

令和7年上半期に報告された主なサイバー犯罪の被害状況は、次のとおりです。

犯罪種類	被害額（約）
特殊詐欺	597億3,000万円
SNS型投資・ロマンス詐欺	590億8,000万円
インターネットバンキング不正送金	42億2,400万円
証券口座不正取引	5,780億円
クレジットカード不正利用（1～3月）	193億円
サポート詐欺	8億5,000万円

被害総額はいずれも増加傾向にあり、**特に証券口座を狙った不正取引の被害額は5,000億円を突破**するなど、過去に例を見ない規模へと拡大しています。「フィッシングメールをうっかり開いてしまった」「クレジットカードの不正利用に気づいた」など、私たちの日常生活と隣り合わせのリスクも少なくありません。

下図は、サイバー犯罪における**被害金額と認知件数の推移**を示したものです。



犯罪増加の背景には、いくつかの要因があります。その一つは、SNSや匿名性の高いメッセージアプリの普及です。

これにより、犯罪実行者の募集や犯罪グループ間の連絡が格段に容易になったことが挙げられます。

いわゆる「闇バイト」と称される実行者募集が氾濫し、強盗や特殊詐欺に関わるケースも確認されています。

サイバー犯罪の怖さは、**加害者が誰なのか、いつどのように被害に遭ったのかが判然としない点**にあります。

従来の犯罪であれば、現場や時間、相手の姿などがある程度特定できますが、サイバー空間では匿名性と国境を越えたネットワークのため、加害者の所在や手口を即座に把握することは困難です。

そのため、被害に気づいた時には既に資産が流出していたり、個人情報不正利用されていたりするケースも少なくありません。こうした「見えにくさ」が、サイバー犯罪の「怖さ」と言えるでしょう。

被害に遭わないためのポイント

- フィッシングメールや不審なSMSのリンクはクリックせず、必ず公式サイトやアプリで確認する
- 認証情報は複雑で推測されにくいものに設定し、二段階認証を有効化する
- SNS上の「高収入」「即日現金化」といった甘い誘いに注意する（犯罪加担につながる危険あり）
- 家庭や企業でバックアップ確保、セキュリティソフト導入、ログ保存を徹底する

サイバー空間は利便性と脅威が表裏一体で存在する空間です。

私たち一人ひとりが正しい知識と慎重な行動を心がけ、犯罪に巻き込まれないようにしていきましょう。

万一被害に遭った場合には、速やかにカード会社や金融機関に連絡するとともに、警察庁のサイバー犯罪相談窓口やフィッシング対策協議会など公的機関に相談してください。早めの行動が被害拡大を防ぐ第一歩となります。